# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月3日

上場会社名　三京化成株式会社　　上場取引所　大
コード番号　8138　URL　http://www.sankyokasei-corp.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）小川和夫
問合せ先責任者（役職名）取締役管理部長　（氏名）市川正治　TEL 06-6262-2881
四半期報告書提出予定日　平成23年2月10日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 15,328 | 5.0 | 279 | 13.3 | 353 | 5.7 | 222 | △4.2 |
| 22年3月期第3四半期 | 14,593 | △19.8 | 246 | △31.7 | 334 | △19.5 | 231 | 9.5 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 17.40 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 18.15 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 13,819 | 7,261 | 52.5 | 568.54 |
| 22年3月期 | 12,617 | 7,243 | 57.4 | 567.08 |

（参考）自己資本　23年3月期第3四半期　7,261百万円　22年3月期　7,243百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 4.25 | — | 4.25 | 8.50 |
| 23年3月期 | — | 4.25 | — | | |
| 23年3月期（予想） | | | | 4.25 | 8.50 |

（注）当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 20,320 | 3.5 | 340 | △4.7 | 430 | △5.2 | 270 | △9.5 | 21.14 |

（注）当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

新規　―社　（社名　　）、　除外　―社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年3月期3Q | 15,600,000株 | 22年3月期 | 15,600,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年3月期3Q | 2,828,562株 | 22年3月期 | 2,827,337株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年3月期3Q | 12,771,884株 | 22年3月期3Q | 12,774,834株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.　当四半期の連結業績等に関する定性的情報 ……2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ……2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ……2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 ……3
2.　その他の情報 ……3
(1) 重要な子会社の異動の概要 ……3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 ……3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 ……3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……3
3.　四半期連結財務諸表 ……4
(1) 四半期連結貸借対照表 ……4
(2) 四半期連結損益計算書 ……5
【第３四半期連結累計期間】 ……5
【第３四半期連結会計期間】 ……6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……7
(4) 継続企業の前提に関する注記 ……8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による緊急経済対策や中国をはじめとする新興国経済の高成長の恩恵を受け、一部企業で業績回復の兆しが見られるものの、長引くデフレや消費不振、雇用回復の遅れ、更には急激な円高なども加わり、足踏み状態から抜け出せないまま推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、お客様本位の営業活動に注力し、新商材の開発と拡販、提案型営業活動の推進など、営業施策の強化に努める一方、引き続き経費削減に取り組んでまいりました。これらの結果、建材資材関連分野は仕様変更や需要の減少により減収となったものの、情報・輸送機器関連分野、化学工業関連分野が需要回復、新規拡販などにより大幅に伸長し、売上高は153億２千８百万円（前年同期比5.0％増）、営業利益は２億７千９百万円（前年同期比13.3％増）、経常利益は３億５千３百万円（前年同期比5.7％増）、四半期純利益は２億２千２百万円（前年同期比4.2％減）となりました。

＜土木・建材資材関連分野＞

建材資材関連分野では、新規顧客の開拓による増加があったものの、什器関連部材の仕様変更や住宅着工件数の低迷によるマンション向けシステム収納部材の落込みが影響し大幅な減収となりました。また、土木関連分野でも、公共事業を中心に建築関係の需要の減少を受け、生コンやコンクリート二次製品向け混和材が減収となりました。

この結果、売上高は42億６千９百万円（前年同期比14.8％減）となりました。

＜情報・輸送機器関連分野＞

情報関連分野では、前年落ち込んだデジタル家電機器関連や情報端末関連及び半導体向け商材が生産回復を受けて大幅に伸長いたしました。

輸送機器関連分野では、自動車向け部品用樹脂商材が国内外の生産回復や拡販により伸長し、二輪車向け部品も堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は52億９千２百万円（前年同期比24.8％増）となりました。

＜日用品関連分野＞

日用品関連分野では、製靴用途向け樹脂が需要回復や輸出のスポット需要を受けて増収となりました。一方、フィルム関連分野では、食品用フィルム、一般包装用フィルムが需要低迷により減収となりました。

この結果、売上高は22億３千２百万円（前年同期比5.3％増）となりました。

＜化学工業関連分野＞

化学工業関連分野では、塗料向け商材は減収となったものの、新規商流の開拓や東南アジアの需要の回復を受けて輸出商材が大きく伸長いたしました。

繊維関連分野では、工業用繊維資材向け薬剤は堅調に推移しましたが、染色整理向け繊維処理剤などが需要の低迷を受けて減収となりました。

この結果、売上高は35億２千７百万円（前年同期比9.8％増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

流動資産は前連結会計年度末に比べ、16億６千７百万円増加し、99億４千６百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が７億４千４百万円、受取手形及び売掛金が５億６千５百万円、有価証券が２億１千万円、商品が１億３千５百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、４億６千５百万円減少し、38億７千２百万円となりました。

これは主に、投資有価証券が５億７千４百万円、減価償却等に伴い有形固定資産が１千７百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて、12億２百万円増加し、138億１千９百万円となりました。

②負債の部

流動負債は前連結会計年度末に比べ、12億２千１百万円増加し、61億８千２百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が13億２千８百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、３千６百万円減少し、３億７千６百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて、11億８千４百万円増加し、65億５千８百万円となりました。

③純資産の部

純資産合計は前連結会計年度末に比べ、１千７百万円増加し、72億６千１百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が１億１千３百万円増加し、その他有価証券評価差額金が９千５百万円減少したことによるものであります。

④キャッシュ・フローの状況
当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、13億３千８百万円の増加となり前連結会計年度末に比べ８億４千４百万円増加いたしました。
各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）
営業活動の結果、増加した資金は７億１千９百万円（前年同四半期連結累計期間は12億８千４百万円の増加）となりました。
これは主に、税金等調整前四半期純利益３億７千７百万円、仕入債務の増加13億２千８百万円の収入に対し、売上債権の増加５億６千５百万円、法人税等の支払額２億２千２百万円の支出によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）
投資活動の結果、増加した資金は２億３千３百万円（前年同四半期連結累計期間は１億１千４百万円の減少）となりました。
これは主に、投資有価証券の売却による収入２億７千１百万円、有価証券の売却による収入５千万円の収入に対し、関係会社株式の取得による支出７千４百万円、投資有価証券の取得による支出９百万円、有形固定資産の取得による支出４百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）
財務活動の結果、減少した資金は１億８百万円（前年同四半期連結累計期間は１億８百万円の減少）となりました。
これは主に、配当金の支払額１億８百万円の支出によるものであります。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**
平成23年３月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月4日に発表いたしました連結業績予想の数値を変更しておりません。

## 2. その他の情報

**(1) 重要な子会社の異動の概要**
該当事項はありません。

**(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要**
① 簡便な会計処理
１）棚卸資産の評価方法
当第３四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第２四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基準として、合理的な方法により算定する方法によっております。
２）固定資産の減価償却費の算定方法
定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理
１）税金費用の計算
当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。
なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

**(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要**
① 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用
当第１四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号　平成20年３月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号　平成20年３月10日）を適用しております。
これに伴う経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

② 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用
当第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。
これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 当第３四半期連結会計期間末<br>（平成22年12月31日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成22年３月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,908,796 | 1,164,498 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,275,190 | 6,709,372 |
| 有価証券 | 260,370 | 49,875 |
| 商品 | 437,294 | 302,062 |
| その他 | 68,299 | 56,679 |
| 貸倒引当金 | △3,128 | △3,086 |
| 流動資産合計 | 9,946,822 | 8,279,401 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 795,770 | 813,598 |
| 無形固定資産 | 41,872 | 49,732 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,776,762 | 3,351,437 |
| その他 | 260,084 | 201,034 |
| 貸倒引当金 | △1,975 | △77,938 |
| 投資その他の資産合計 | 3,034,871 | 3,474,533 |
| 固定資産合計 | 3,872,514 | 4,337,863 |
| 資産合計 | 13,819,337 | 12,617,265 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,000,501 | 4,672,130 |
| 未払法人税等 | 53,149 | 124,093 |
| 賞与引当金 | 14,240 | 61,395 |
| 役員賞与引当金 | 9,000 | 15,000 |
| その他 | 105,239 | 88,413 |
| 流動負債合計 | 6,182,131 | 4,961,032 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 1,334 | 1,046 |
| 役員退職慰労引当金 | 186,993 | 193,118 |
| その他 | 187,838 | 218,942 |
| 固定負債合計 | 376,165 | 413,106 |
| 負債合計 | 6,558,297 | 5,374,138 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,716,600 | 1,716,600 |
| 資本剰余金 | 1,433,596 | 1,433,596 |
| 利益剰余金 | 4,573,769 | 4,460,227 |
| 自己株式 | △574,878 | △574,633 |
| 株主資本合計 | 7,149,087 | 7,035,790 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 82,407 | 177,791 |
| 土地再評価差額金 | 29,545 | 29,545 |
| 評価・換算差額等合計 | 111,952 | 207,336 |
| 純資産合計 | 7,261,040 | 7,243,126 |
| 負債純資産合計 | 13,819,337 | 12,617,265 |

## (2) 四半期連結損益計算書

【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自 平成21年４月１日<br>至 平成21年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自 平成22年４月１日<br>至 平成22年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 14,593,892 | 15,328,412 |
| 売上原価 | 13,290,376 | 13,956,144 |
| 売上総利益 | 1,303,515 | 1,372,267 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,056,556 | 1,092,370 |
| 営業利益 | 246,959 | 279,896 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 14,930 | 12,593 |
| 受取配当金 | 37,357 | 36,493 |
| 持分法による投資利益 | 24,194 | 10,968 |
| 仕入割引 | 5,404 | 3,911 |
| その他 | 11,038 | 16,695 |
| 営業外収益合計 | 92,924 | 80,662 |
| 営業外費用 | | |
| 売上割引 | 4,764 | 5,122 |
| その他 | 960 | 2,271 |
| 営業外費用合計 | 5,724 | 7,394 |
| 経常利益 | 334,159 | 353,164 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 7,347 | 26,207 |
| ゴルフ会員権売却益 | 8,050 | － |
| 貸倒引当金戻入額 | 31,806 | 1,011 |
| 特別利益合計 | 47,204 | 27,218 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 100 | 25 |
| 固定資産売却損 | － | 2,236 |
| ゴルフ会員権評価損 | 725 | － |
| その他 | － | 139 |
| 特別損失合計 | 825 | 2,401 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 380,537 | 377,981 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 148,611 | 155,708 |
| 法人税等合計 | 148,611 | 155,708 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | － | 222,273 |
| 四半期純利益 | 231,926 | 222,273 |

【第３四半期連結会計期間】

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結会計期間<br>（自　平成21年10月１日<br>至　平成21年12月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（自　平成22年10月１日<br>至　平成22年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 5,188,805 | 5,258,292 |
| 売上原価 | 4,734,847 | 4,786,068 |
| 売上総利益 | 453,957 | 472,224 |
| 販売費及び一般管理費 | 359,686 | 363,707 |
| 営業利益 | 94,270 | 108,517 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,636 | 3,818 |
| 受取配当金 | 10,723 | 11,062 |
| 持分法による投資利益 | 14,176 | 2,782 |
| 仕入割引 | 1,587 | 1,368 |
| その他 | 3,062 | 2,546 |
| 営業外収益合計 | 35,186 | 21,578 |
| 営業外費用 | | |
| 売上割引 | 1,818 | 1,821 |
| その他 | 315 | 19 |
| 営業外費用合計 | 2,134 | 1,840 |
| 経常利益 | 127,323 | 128,255 |
| 特別利益 | | |
| ゴルフ会員権売却益 | 8,050 | － |
| 貸倒引当金戻入額 | △26 | △132 |
| 特別利益合計 | 8,023 | △132 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 50 | － |
| ゴルフ会員権評価損 | 725 | － |
| その他 | － | 69 |
| 特別損失合計 | 775 | 69 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 134,570 | 128,053 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 49,540 | 51,650 |
| 法人税等合計 | 49,540 | 51,650 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | － | 76,403 |
| 四半期純利益 | 85,029 | 76,403 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自 平成21年４月１日<br>至 平成21年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自 平成22年４月１日<br>至 平成22年12月31日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 380,537 | 377,981 |
| 減価償却費 | 35,547 | 26,954 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △31,806 | △75,920 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △37,095 | △47,155 |
| 役員賞与引当金の増減額（△は減少） | △6,000 | △6,000 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 164 | 288 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 12,138 | △6,125 |
| 前払年金費用の増減額（△は増加） | 973 | △5,272 |
| 受取利息及び受取配当金 | △52,287 | △49,086 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △24,194 | △10,968 |
| 有形固定資産除却損 | 100 | 25 |
| 有形固定資産売却損益（△は益） | － | 2,236 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △7,347 | △26,207 |
| ゴルフ会員権売却損益（△は益） | △8,050 | － |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △601,000 | △565,817 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △16,623 | △135,232 |
| その他の資産の増減額（△は増加） | △1,712 | 60,201 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 1,670,564 | 1,328,371 |
| その他の負債の増減額（△は減少） | 47,002 | 37,550 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | 14,334 | △21,556 |
| その他 | 206 | △1,590 |
| 小計 | 1,375,452 | 882,677 |
| 利息及び配当金の受取額 | 51,064 | 59,060 |
| 法人税等の支払額 | △142,013 | △222,449 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,284,503 | 719,287 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | － | △100,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 100,000 | 100,000 |
| 有価証券の売却による収入 | － | 50,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,616 | △4,035 |
| 有形固定資産の売却による収入 | － | 531 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △52,400 | － |
| 投資有価証券の取得による支出 | △218,658 | △9,524 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 51,311 | 271,710 |
| 関係会社株式の取得による支出 | － | △74,958 |
| その他 | 9,399 | 24 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △114,964 | 233,748 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △439 | △245 |
| 自己株式の売却による収入 | 325 | － |
| 配当金の支払額 | △108,575 | △108,492 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △108,689 | △108,737 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | － | － |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 1,060,850 | 844,297 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 630,172 | 494,498 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,691,022 | 1,338,796 |

### (4) 継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日)
該当事項はありません。

### (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日)
該当事項はありません。